

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	鯨ヶ沢町家庭教育支援チーム (呼称:鯨ヶ沢町子育てサポートセンター) URL:Facebook「鯨ヶ沢 サポセン」
活動開始年度	平成15 年度
活動拠点	鯨ヶ沢町中央公民館
活動範囲	鯨ヶ沢町内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<u>7</u> 人 子育てサポーター 4人、主任児童委員 3人
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他()
	【活動内容】 (1)サポートセンター事業(相談対応) 中央公民館に出勤しているスタッフが家庭教育に関する相談に対応している。 毎週月・木曜日 9:30～15:30 (2)子育て情報紙[ほっとタイム]の発行(年6回) 家庭教育支援チームの取組の紹介、事業参加の呼びかけ、子育てに関する情報などを発信している。 隔月で発行し、保育所、小・中学校の保護者に配布する他、公民館等の公共施設にも置いている。 町ホームページ内「鯨ヶ沢町子育てサポートセンター」(鯨ヶ沢町家庭教育支援チーム)のコーナーにも掲載している。 (3)「鯨サポお茶会」(月4回程度) 親同士の交流と仲間づくりを目的として、鯨ヶ沢町中央公民館で実施している。また、スタッフが随時子育てや家庭教育に関する相談に対応している。以下の取組を行っている。 ・「しゃべり場(情報交換会)」の設置 親子で交流する中で、気軽に家庭教育についての相談ができるように工夫している。また、個別の相談にも対応できるよう、専用の相談場所も設置している。

・「ベビーマッサージ」

各公民館において、参加者の要望があれば実施している。柔らかい赤ちゃんの肌に触れることが母親のストレス解消となり、精神的な安定につながっている。また、赤ちゃんを一層愛おしく感じ、赤ちゃんもその愛情を感じ、親子の絆を深めることにもつながっている。

・「親楽プログラム」

青森県家庭教育委員会が作成した「あおもり親楽プログラム」を活用したワークショップを実施している。親同士が話し合いを通じて主体的に学び合う参加型学習プログラムとなっており、子育てを支え合う関係を築くとともに、子どもとの関わり方に気づき、それぞれに家庭での実践に役立てることを目的としている。

・「離乳食教室」(年に1~2回)

離乳食をこれから始めようとしている方、少し始めてみた方を対象に、鱒ヶ沢町母子支援センターと連携して実施している。同月齢の子を持つ親同士が集まり学ぶことによって、知り合うきっかけと仲間づくりにつながっている。

(4)「参観日カフェ」

児童・生徒を持つ親を対象に、小・中学校の授業参観日の際、親同士の交流や仲間づくりが進むように、空き教室を利用して実施している。待ち合わせ場所、休憩所、おむつ交換や授乳スペースとしても活用されており、スタッフが随時相談にも対応している。

(5)「赤ちゃんふれあい教室」(年2回)

対象:中学生

ねらい:中学生が乳幼児健診を受診する赤ちゃんとのふれあい体験をすることを通して、命の尊さや子育ての喜びを体験し、健全な父性や母性を育成する。

内容:母子支援センター事業であり、協力を行っている。

(6)「木育広場」(年1回)

子どもが素手と素足で木のぬくもりを楽しめる場の提供と、親子のコミュニケーションを深める機会提供のために実施している。

(7)「孫育て講座」

対象:祖父母

ねらい:今どきの子育てを知り、新しい情報を共有することにより、今の親の子育ての応援につなげる。

内容:孫との関わりを豊かにするノウハウを学習する。

(8)「和菓子作り」

親同士の交流と仲間づくりを目的に、幼児・児童とその保護者を対象とし、町内の和菓子職人を講師に迎え、毎年鱒ヶ沢中央公民館で実施している。

(9)「鱒ヶ沢紙相撲大会」

親子のふれあいと小学生以下の子どもを持つ親たちの交流を目的に、平成20年度から実施している。

(10)「生と性を考える教室」

対象:高校生

	<p>ねらい:性に関する正しい知識と判断力を身に付けることや、命の尊さを学ぶ。</p> <p>内容:町健康ほけん課の保健師が講師となり、町内の高校に出向いて、赤ちゃん(人形)の沐浴・着替え・抱き方の指導等について協力している。</p>
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの相談体制の整備や関係機関と連携した取組をすることによって、親が他者との協働や交流の中で安心して子育てをすることができる環境を提供している。 ・参加者同士のグループが生まれ、交流を深めている。
活動において苦労した点や課題	<p>・参加者同士で生まれたグループが独立した活動を展開し、そういったグループが増えていって、活動が活性化していくことをねらっているが、なかなか活動を展開していくまでのグループができない。</p>
今後の活動目標	<p>・「地域の子どもは地域で育てる」をモットーに、子育てしやすい町を目指していく。</p>
問合せ先	<p>(部署・氏名等)鱒ヶ沢町教育委員会 教育課 社会教育班・齊藤 愛子 (TEL)0173-72-2111(内線 433) (E-mail)syakyou@town.ajigasawa.lg.jp</p>